

世代を超えてつながろう

歴史研究をすすめていくための課題・疑問・情報などについて語ろう



「自分のなかに歴史を読む」

○話題提供 今井小の実 関西学院大学

『社会福祉思想としての母性保護論争』(2005)・『福祉国家の源流をたどる』(2023)・『博愛社の史的的研究』(2023)など、今井会員の研究活動のあゆみから、みなさんの歴史研究を発展させていくためのヒントが得られると思います。社会福祉歴史教育委員会メンバーや学会員同士で研究活動の不安や課題などを乗り越えるための疑問をどんどんぶつけ、歴史研究の世界を盛り上げていきましょう。

1

疑問の解消

どうしたら・・・？
研究を深化させるための
ヒントを得よう

2

繋がる

さまざまな研究テーマ
の歴史研究者同士のつ
ながりを作ろう

3

共創する

これまでの蓄積を学会
全体で共有し、さらなる
研究成果に繋げよう

社会福祉歴史教育
委員会メンバー

江連 崇

名寄市立大学
社会福祉と宗教の関
係性について探究して
います。永遠に悩める
若手研究者。

渡邊 かおり

愛知県立大学
社会福祉の運動史、
民衆史の研究を
模索中。

菅田 理一

鳥取短期大学
施設史研究数十年。
福祉サービスが利用
児者にどのように
寄り添ってきたのか
を究明。

倉持 史朗

同志社女子大学
感化院・監獄などに
おけるこども支援、
基督教・天理教などの
施設史研究で迷走。